

はじめに	i
------	---

## 理論編 — 『学び合い』 の考え方を知ろう — ..... 1

### 第1章 分からない子が誰もいなくなる授業を実現しようとするときに考えること — なぜ、『学び合い』なのか — ..... 2

- (1) 子どもたちの理解は実に多様である ..... 2
- (2) 子どもたちは有能である ..... 9
- (3) 効果的なのはどっち? ..... 14
- (4) 教師が教えていると思っていることと、学習者が実際に学んでいることがずれている ..... 18
- (5) 専門的になればなるほど教えられなくなる ..... 22
- (6) 子どもたちの学びは自然発生する ..... 27
- (7) 個に応じる指導は本当に子どもたちの理解を促しているのか ..... 29
- (8) 興味・関心や意欲はどのようにして生まれるのか ..... 32
- (9) 授業者は子どもたちがどこまで分かっているのかを把握しているか

36

### 第2章 『学び合い』 とは何か ..... 39

- (1) 情報の3階層モデル ..... 39
- (2) 『学び合い』 の3つの考え方 ..... 47
- (3) 『学び合い』 では「みんな」を大切にす ..... 60
- (4) 『学び合い』 は学び合いとどこが違うのか ..... 62
- (5) 『学び合い』 の考え方によって現れる『学び合い』 の現象 ..... 68

## 実践編 — 『学び合い』 の考え方による授業を実践してみよう — ..... 73

### 第3章 学習指導案（略案）を作るポイント ..... 74

- (1) 本時の目標を考えるときのポイント ..... 74

(2) 評価規準を考えるとときのポイント	78
(3) 手立てを考えるとときのポイント	80
(4) 教材を考えるとときのポイント	81
<b>第4章 目標を設定する</b>	<b>86</b>
(1) 目標設定までの手順	86
(2) 小学校第2学年道徳の時間の授業を具体例に	92
(3) 小学校第3学年国語の授業、第5学年算数の授業、第4学年社会科 の授業を具体例に	94
(4) 目標の作り直し	97
<b>第5章 『学び合い』の考え方による授業を始める前にすること</b>	<b>100</b>
<b>第6章 授業者は子どもたちの学ぶ環境を整える</b>	<b>108</b>
(1) 方法を委ね、学ぶことを待つ	108
(2) 可視化	111
(3) 時間の見通しを示す	115
<b>第7章 評価する</b>	<b>118</b>
<b>第8章 実践する上で大切なこと — 学校現場からの戸惑いに応じて、『学         び合い』入門のための Q&amp;A —</b>	<b>120</b>
<b>第9章 『学び合い』の考え方で子どもたちが変わる</b>	<b>147</b>
(1) 子どもたちの人間関係が変わる	147
(2) 子どもたちの成績が変わる	149
(3) 外国人児童や気になる子が変わる	151
(4) 1回の授業で子どもたちが変わる	153
<b>謝 辞</b>	<b>170</b>
<b>文 献</b>	<b>171</b>